

団体の、活動ノウハウを公開する

活動 なう

[第3回]



▲馬っこパーク・いわて

馬っこパーク・いわて

乗馬・ふれあい体験・ホースセラピーの実践・障がい者、生活保護、ニート者を支援する活動（作業所の提供、雇用による支援）、被災者支援等を行っている。年間利用者は3万人程度。

開園時間	9:00~16:30
入場料	無料
休館日	毎週水曜日（障がい者乗馬に特化して実施するため）



馬っこパーク・いわて~ 乗馬を中心にアニマルセラピーと 青少年育成や地域住民との交流を目指す

「NPO法人 乗馬とアニマルセラピーを考える会」
理事長 山手 寛嗣 さん



▲山手理事長(右から2人目)とスタッフの皆さん

馬っこパーク・いわてとは

前身のポニースクール岩手は、平成元年4月、青少年健全育成、乗馬振興、スポーツ・レクリエーションの推進を目的に岩手県が開設し、青少年を中心に乗馬教室、ポニー教室、ポニーキャンプ等の事業を実施して来た。このポニースクールの岩手が廃止されることが決まったため、ここに残される沢山の馬や、立派な施設のことを考え、平成20年度に、急遽、NPO法人「乗馬とアニマルセラピーを考える会」を立ち上げ、ポニースクール岩手の借受人となり、名称を「馬っこパーク・いわて」と称して、同施設の維持管理とホースセラピーを始め、乗馬・福祉・観光・教育・馬事振興・地域活性化を柱にその拠点施設として多目的に活用している。

アニマルセラピーとは

当法人では、入園無料で施設を開放している。馬・山羊・ウサギとのふれあいを中心にアニマルセラピーを実践し、毎週水曜日には障がい者乗馬に加え高齢者の乗馬を実施している。

心や体の治療としてのアニマルセラピーの中でも、馬はふれあいだけでなく、乗ることが出来る特別な動物で、それゆえ効果が高く、ドイツでは医療保険の適用対象になっている。幼児期に動物とのふれあいを体験することで、社会性、自



▲障がい者乗馬 タズナを執って馬の誘導

立性が育まれ他人に対する思いやりの心やいたわりの心が形成されるとされている。近年の児童の心の育成と被災地の現状を見ると、緊急に必要とされる事業であり、ホースセラピーの新しい展開が岩手で実現出来ることは、広く社会に展開される可能性を持っている。また、それは当法人が社会に役立つことができる最前線でもある。

実際、被災地に赴くと、ホースセラピーによって、お年寄りや子供達がどんどん笑顔になり元気になっていく姿を見ることが出来る。それによって、逆に我々が元気をもらっていることに気付かされる。

ホースセラピーの効果

- ①精神的効果
 - 馬は群れで行動する社会性を持ち、人に従順で心優しい動物だ。ただ草食動物としての性質上、怖がりな部分があるため馬の気持ちを考えて世話をする必要がある、そこではじめて、馬と気持ちが通い合う喜びが生まれる。
 - 自尊心や達成感を育む
 - 信頼感や対人関係・強調整性の向上
 - 日常生活

- 習慣の改善 ○不安感や嫌悪感・恐怖心の軽減 ○やすらぎ・安心感を得る
- ストレスの解消
- ②身体的効果
 - 乗馬はバランスの取れた有酸素運動である。乗馬独特の振動やリズムは、跨っているだけで足や膝に負担を掛けずに運動効果を得ることが出来る。
 - 全体的健康の増進 ○身体機能全般に対する刺激 ○ダイエット効果
 - バランス感覚の発達 ○腰筋や背筋を主とした筋力の向上 ○様々な運動機能の発達

- ③乗馬運動の刺激効果
 - 心拍数の増加 ○酸素消費量の増加
 - これにより、有酸素運動の促進が図られる。



▲動物愛護フェスティバルの様子 ▲子供達は馬が大好き!

- ④乗馬療法持続の効果
 - 血液循環の促進 ○筋肉の発達促進
 - 姿勢の矯正 ○平衡感覚及び移動感覚の発達 ○漸進的整理運動機能の向上

活動内容について

新しい公共支援事業（モデル事業）の採択を受け、ふれあい訪問の事業を実施している。被災地の幼稚園や保育園、老人ホーム等へ赴くと、乗馬や餌やりを通して、より一層動物との距離が縮まり、時には車椅子の老人が、自ら立ち上がり馬にふれられたり、皆さんが笑顔になり大喜びする姿を見ることができ、改めてホースセラピーの重要性が感じられる。

施設内においては、毎週水曜日10時から11時30分まで、障がい者及び高齢者乗馬の、継続性が大切なホースセラピーを行っている。これは、障がいの程度を考慮し、乗乗者ごとの指導内容でカリキュラムを組んでいる。乗乗者の健康状態の確認と維持を常に行っており、乗乗者が自分でできる範囲はなるべく手は貸さず、乗乗者が馬をできるだけ自分で制御できるように環境を作っている。



▲復興支援チャグチャグ馬コとのふれあい

これまでの課題、問題点について

「馬っこパーク・いわて」の運営にあたり、多くの方々にご来訪いただき、また各方面の皆様のご協力により「ホースセラピーの普及」、「地域との交流事業」、更には教育的利用を目的とした「ふれあい事業」を進めてきたが、施設の維持・管理、在厩している馬たちの飼代、人件費等、財政面で困難なことがある。乗馬体験の費用も利用者からは千円しかいたっていない状態で、不足分は当法人が補っている状況でもある。

年間を通じて、県内外からのボランティアの方々、就労支援のニートのの方々等、沢山の方々からの支援を頂き、スタッフ共々みんなで頑張っている。

この施設を県から借り受けている訳だが、残念ながら契約が単年契約となっている。ホースセラピーに使用される馬に購入してから1人前になるまで教育するには何年もかかってしまうため、なかなか設備投資ができない。教育期間中は餌代もかかる上、広大な敷地の施設の維持・管理には長期的な視野に立った計画が必要ではないかと思う。できることなら、3年、5年等、複数年に渡る契約を結んでいただければと思っている。

今後へ向けての抱負について

「馬っこパーク・いわて」は入園無料となっているので、暖かい季節にはお弁当持参で、ご家族・友人・ご近所をお誘

いし、気楽にピクニックに来ていただきたい。また、キャンプ場もあるので、こちらの方も是非ご利用いただきたい。

ホースセラピーを利用されている方々は県外からも沢山来られており、障がいを持つお子さんをお持ちの親御さんにとって、こちらの施設は大切な出会いの場となっており、社会の役に立っているのではと思っている。また、重度の障がいを持つお子さんが、乗馬することで笑顔になったり、体の不自由な方が、乗馬するために何とかして体を動かそうとされたり、自閉症のお子さんが積極性を持ち、自らの意志で馬に対して接するようになる等、ホースセラピー効果は確実にあると思っている。目が見えない方も笑顔で「温かくてフワフワする、空飛ぶ絨毯に乗ってみたい。」と乗馬された感想を言っている。

これからもずっと、これだけの立派な施設を残していくためにも、当法人の様々な活動を単発で終わらせないように、継続性のある活動、多方面に渡る横のつながりを重視した宣伝を行って行きたい。スタッフは勿論、行政の方々、ボランティアの方々、当法人の会員さんや馬主さん等、沢山の方々のご支援をいただきながら頑張っていきたい。

NPO法人 乗馬と アニマルセラピーを考える会

住所：〒020-0173
岩手郡滝沢村滝沢字砂込389-18
馬っこパーク・いわて内
理事長 山手 寛嗣
TEL：019-688-5290
FAX：019-688-7262
http://umakkopark-iwate.org/

